

出雲観光大使だより

平成23年5月10日発行 第4号

春の出雲

【浜山名水】

環境省の「平成の名水百選」に選定されている「浜山湧水群」の名水の給水施設が『出雲文化伝承館』駐車場に完成しました。給水施設は、出雲神話のヤマタノオロチをかたどったモニュメントになっており、ボタンを押すと、オロチのくちから名水が流れます。

水は、豊かな自然に育まれた良質の湧水で、水質の良さから醤油醸造の水としても大切に利用されています。

出雲の名水と出雲神話の雰囲気を楽しむことができる、新しい観光スポットとなっています。

【料金】 無料

【時間】 9時から21時まで

出雲文化伝承館

出雲地方の代表的な屋敷構えを残す旧江角邸を中心に、出雲流庭園・松平不昧公の愛用した茶室、展示室などを点景として加え、築地松に代表される出雲地方の田園風景の保全を図りながら、伝統文化を継承し、訪れる人が出雲文化に触れられる場所です。

また、敷地内のそば屋では、出雲そばを美味しく召しあがっていただけます。

〔住所〕 島根県出雲市浜町 520 〔電話〕 0853-21-2460

〔入館時間〕 9:00～17:00（入館は16:30まで）

〔休館日〕 月曜日（祝日の場合は開館しています。）、年末年始



〔浜山名水の給水施設〕



〔旧江角邸〕



〔茶室〕

御本殿大屋根特別拝観

4月29日から5月8日までの10日間、平成23年春の出雲大社御本殿大屋根特別拝観が行われました。全国各地から、13,000人の拝観者が訪れました。

一昨年に、大屋根に葺かれていた約47トンもの膨大な量の檜皮は、全て取りおろされ、その後、約一年かけて、野地板など木部の調査、修理が行われました。今年の特別拝観では、檜皮が全て取り下ろされた御本殿大屋根の伝統的で独特な構造を見ることができましたが、今年の特別拝観では、新しい檜皮で葺かれている様子を間近に見ることができました。

御本殿の屋根には、約64万枚もの檜皮が葺かれます。現在は、下の方から三分の一程度が葺かれています。素屋根（工事現場）の見学順路を巡り、檜皮が何層にも重ねられていく様子を見るにつけて、伝統建築のすばらしさに感動を覚えます。一般的には、2尺5寸（1尺約30cm）の長さの檜皮を用いますが、出雲大社では、3尺・3尺5寸・4尺という長い檜皮も用いられています。これほど長い檜皮を用いる建物は、全国でも類をみないとのこと。伝統的な建築方法を身近に見られる貴重な機会です。

夏季にも、御本殿大屋根拝観が行われます。ぜひ、お出かけください。

〔期 間〕 平成23年 8月 5日（金）～21日（日）〔17日間〕

〔時 間〕 9時00分～16時30分

〔拝観料〕 無料（ただし、事前申込みもしくは、整理券が必要です。）

〔問合先〕 出雲大社社務所 （8:30～17:00）

電話 0853-53-3100 FAX53-53-2525

<http://www.izumooyashiro.or.jp/haikan23.html>



拝観記念としていただいた「拝観之証」と「檜皮古材」です。拝観之証には、檜皮が葺かれる写真と拝観日の日付入りです。檜皮古材は、60年間出雲大社の大屋根に葺かれていたものであり、末永く和楽宝栄に結ばれますようにという祈りが込められています。

夏の出雲

『出雲日御碕 灯台資料室 リニューアルオープン』

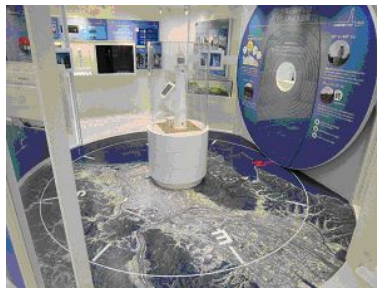
出雲日御碕といえば、青い海と白亜の灯台のコントラストが、私たちの目を楽しませてくれます。夏には、多くの観光客が訪れます。

この出雲日御碕灯台資料展示室が3月11日にリニューアルオープンしました。

灯台の模型展示や、「日御碕灯台ものがたり」として、灯台の成り立ちや歴史を知ることができ、灯台をより楽しむことができます。

入館時間 9:00～16:30

入館料 無料



■展示室中央（出雲市航空写真）



■出雲日御碕灯台の模型



■日御碕灯台ものがたりのディスプレイ



■日御碕灯台ものがたり

日御碕の海底に沈む神殿

日御碕先端の日御碕灯台北側、日御碕神社西側の海底に、岩を削って造った階段の様な跡やウミガメにそっくりな「亀石」などがみつかっています。

遺跡かどうかは、専門的な調査が待たれるところですが、「日御碕の海底に沈む神殿 もう一つの出雲神話」としてマスコミにも取り上げられています。

ダイビングもでき、海中の神秘を楽しむことができます。

おわりに

東日本大震災で被災された皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。

3月の東日本大震災では、甚大な被害があり、被害にあわれた方々のためにできることをという思いのもと、出雲市においても、義援金、募金、物資の輸送を行ったほか、災害地への消防職員、水道職員、保健師、事務職員の派遣等を行っています。また、被災地から出雲市へ避難された方々もいらっしゃいます。今、最も必要なことは被災された方々への支援・復興に向けての支援であると考えています。

そのような中でも、被災を逃れた地域として、「観光で日本を元気に！」という気概を持って、観光や産業全体を盛り立て、一日でも早い復興を支える原動力になりたいという思いのもと、観光大使だよりをお送りいたしました。引き続き、皆様のお住まいの地において、出雲の魅力をPRいただきますようお願いいたします。

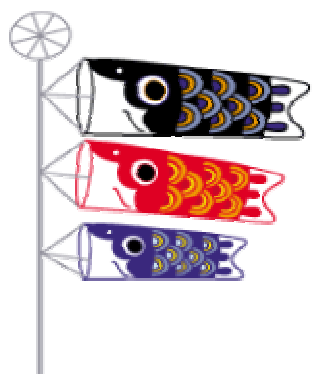
また、関東地区で被災された観光大使の方々へ、皆様が大切に思ってくださっている出雲の様子をお伝えしたいとの思いを込め、今回、このたよりをつくりました。常につながっていることを感じていただけたらと思います。

～ご意見・情報をお寄せください～

出雲市では、皆様から、さまざまな貴重なご意見や情報をいただき、観光誘客のため施策・取り組みに反映させたいと思います。また、「このような情報が欲しい」などのご要望もぜひお気軽にお寄せください。

方法は、電話、ファックス、郵便、メールなど、いずれでも結構です。

そのほか、たよりの送付先の変更やメールでの配信希望、『出雲観光大使名刺』の追加作成などをご希望の場合もぜひ、お知らせください。



〒693 [redacted]
島根県出雲市 [redacted]
出雲市 [redacted]
電話 [redacted]
FAX [redacted]
E-mail: [redacted]@city.izumo.shimane.jp